



































月日	月 日		月 日		月 日	
経過	入院日		手術当日(術前)		手術当日(術後)	
目標	心身ともに安定した状態で検査・治療が受けられる 術前ケア・準備の必要性が理解でき参加・実践できる 術後合併症予防のための計画された方法を実践できる 生活習慣の問題点を確認できる				術後合併症(出血・感染)をおこさない 心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリ がおこなえる	
検査					 手術後の経過をみるため、  必要に応じてレントゲンや採血をおこないます	
食事	特に制限はありません					
処置・観察	朝食は 自宅で  				  	
	 体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を測定します  リストバンドを装着します (退院日まで装着します)		 早朝・手術前に 体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を測ります  午前・午後 時から 手術が始まります ※手術時間により連絡が あります		 体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を測定します  酸素投与を開始します 尿の管が入っています	
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護 師にお渡しください   就寝前に眠剤・下剤を 服用します		常用薬は休業します  ※医師の指示があれば服用し ていただく場合もあります。 指示があれば看護師が 説明します		 持続点滴をおこないます   手術2時間後に抗生剤 の点滴をおこないます	
					 持続点滴を終了します (状態により点滴を継続 する場合もあります) 抗生剤の点滴と血流を よくする点滴を 朝10時・夜22時に おこないます   常用薬の服用を再開します 看護師が配薬します ※指示があるまでは 服用せずにお待ちください	
行動	 特に制限はありません   シャワー・洗髪を してください		 手術の前にシャワー浴を して手術着に着替えます   手術前にトイレを済ませ、入れ 歯、時計、アクセサリ、眼鏡 をはずしてください 歩いて手術室へ行きます (手術部位の除毛は手術室で おこないます)		 翌日まで床上安静に なります(ベッドは頭も と30度までアップでき ます ベッド上では自由に 寝がえりできます)	
					 医師の許可が出るまでは 看護師が清拭します   心臓リハビリテーション 開始します(歩行訓練)   検査室へは車椅子で行きます	
説明	 医師より説明 ・入院後の検査や 治療計画について  麻酔科医より説明 ・麻酔について  看護師より説明 ・入院生活について ・治療前後の処置・検査や 安静について ・生活習慣について ・ビデオ勉強会について ・心臓リハビリテーション について  手術室看護師より説明 ・手術について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		 医師の回診があります		 医師の回診があります	
					 医師の回診があります   看護師より説明 ・弾性包帯の巻き方に ついて	

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日 ~ 月 日	月 日	月 日 ~ 月 日	月 日
経過	術後 2 ~ 3 日目		術後 4 日目	
経過	術後 5 ~ 7 日目		退院日	
目標	術後合併症（出血・感染）をおこさない 心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリ がおこなえる		術後合併症（感染）をおこさない 生活習慣を改善する必要性を認識し、具体的な改善目標 を設定できる 退院後の注意点が述べられる	
検査	  手術後の経過をみるため、必要に応じてレントゲンや採血をおこないます			
食事	         			
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します 初回のシャワー浴は前後で脈拍・血圧を測ります リハビリ前後でも脈拍を測ります 毎朝、創の確認をおこないます		 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します 毎朝、創の確認をおこないます	
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します 初回の入浴は前後で脈拍・血圧を測ります 状態が安定していればリハビリ前後の脈拍・血圧測定を中止します 手術後 1 週間で創部の抜糸（抜こう）をします 抜糸後、創の状態が問題なければ毎朝の確認は終了します 退院時にリストバンドを外します			
点滴・内服	 術後 2 日目で抗生剤の点滴、4 日目で血流をよくする点滴を終了します ※発熱や、血液検査上炎症反応が上昇していれば抗生剤の点滴は続行する可能性があります  常用薬は 1 日分自己管理にします 看護師が毎朝 1 日分を配薬します		内服薬は自己管理にします	
行動	  心臓リハビリテーションを継続します 午前・午後にわけ歩行訓練をします 検査は車椅子で行きます   状態が安定し、医師の許可が出たら創部・点滴挿入部の保護をしてシャワー浴をします ※初回は見守り下でのシャワー浴となります （初回のシャワー浴で問題なければ次回より 1 人でシャワー浴します）		毎日の心臓リハビリテーション目標をご自分で立て、それに合わせてリハビリをおこないましょ （特に制限はありません） 歩行訓練が進み問題がなければ、検査は歩いて行きます	
説明	 医師の回診があります  栄養士より説明 食事の栄養指導		 医師の回診があります  看護師より説明 （術後 5 日目と 7 日目） ・生活管理チェックについて ※疾患についてのパンフレットをしっかりと読んでください ・退院後の日常生活の注意点について ・生活習慣指導について  栄養士より指導 ・食事療法について ・個別及び集団指導	
説明	 医師の回診があります  看護師より説明 ・生活習慣の改善目標を確認します			

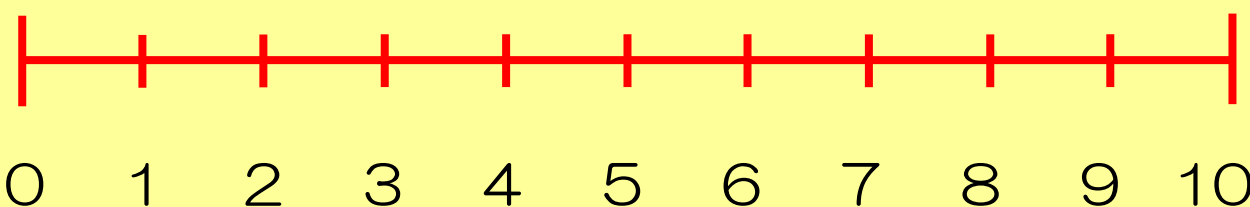
## 手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

☞ **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合  
今の痛みはどのあたりですか



痛みがない

中等度の痛み

最大の痛み

APS チームがサポートします。

よろしくお願ひします。

